



校長室だより

きまがせ



令和6年2月9日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

積雪による登校時刻変更にご協力ありがとうございました。

降雪の影響で、登校時刻を変更し、安全な登校をお願いしましたが、登下校中のけが等もなく、安心しました。6日の朝は、いつも学校前の横断歩道に立っていただいている交通指導員さんが、職員と共に、朝早くから子どもたちが通る場所の雪かきを手伝っていただきました。また、別の日には、児童の下校の様子をご覧になった地域の方から、安全な横断のために、大人の見守りが必要なのではないか、というご心配の声もいただきました。改めて、地域の方々に木間ヶ瀬小学校の子どもたちは見守っていただいているのだな、と感じました。

さて、雪の積もった翌日の朝、気温がかなり下がり、路面凍結が見られる状態での通常登校となりました。いつものように、横断歩道で挨拶を交わしていると、ある児童が、「滑って転んでしまった。」と話しかけてきました。幸いけがはなく、凍った歩道でツルっと滑ったことが楽しかったという気持ちだったようです。また、別の児童は、「朝、雪の上を踏んだら、ザクザクして気持ちよかった。」と話してくれました。子どもたちにとって、雪が降る、雪が積もるというなかなかできない経験は、冷たさや寒さに勝り、ワクワクするものなのだと思います。笑顔で話す子どもたちの様子を見て、心が温かくなりました。

余談ですが、先程の滑って転んでしまった児童は、後ろにステンと転んだ時に、頭を打つことはなかったようです。その時、私から「ランドセルのおかげだね。」という話をしました。実は、もうだいふ前になりますが、ある学校で、児童とトラックとの交通事故が起こり、小学生が数メートル跳ね飛ばされたのですが、ランドセルがクッションになって、頭を打つこともなく、大事に至らなかったということがありました。その事実を目の当たりにして以来、「ランドセルは命を守る」ことを幾度となく教室で話題にしてみました。

前回の校長室だよりでも書きましたが、私たち大人は、正しい知識をもち、自身の経験も加味しつつ、知っていること、わかることを子どもたちに伝え、教えていくことが大切だと考えています。

週末は3連休です。今週は6年生が学級閉鎖になり、他の学年でもインフルエンザによる欠席者が若干います。基本的な感染予防をして、無理をせず、元気に週明けに登校できるとよいです。



尚、週明けの欠席状況によっては、「給食後に下校」という可能性がありますので、その際は、ご理解ご協力をお願いします。